

- スズキ、「ジムニー」及びマツダOEM「AZ-オフロード」のフロントサスペンションに不具合があるとしてリコール
コイルスプリングの鋼材に対する塗料の密着性が不足しているため、砂や小石を噛み込んだ場合に、塗料が剥がれやすく、腐食が早期に進行するものがある。その為、最悪の場合、コイルスプリングが折損する恐れがある。
13年4月9日～18年2月22日に生産した7万6362台
- UDトラック、「クオン」のエンジン制御システムに不具合があるとしてリコール
19年9月10日～20年7月9日に生産された、平成28年排出ガス規制対応のディーゼルエンジンを搭載する大型トラック5407台
エンジン制御システム(EMS)のプログラム設定が不適切な為、燃料システムの燃料圧力制御の監視および吸気過給のブースト圧力センサ故障監視機能で診断が行われないことがある。その為、故障を知らせる警告灯が点灯しない恐れがある。
- スズキ、「キャリイ」・日産OEM「NT100クリッパー」・マツダOEM「スクラム」・三菱OEM「ミニキャブ」の燃料タンクに亀裂が入る恐れがあるとしてリコール
燃料タンクの車体取付部位の強度が不足している為、走行中の振動により取付部位付近に亀裂が発生するものがある。その為、そのまま使用を続けると、亀裂が進行し燃料がにじみ出ることがあり、最悪の場合、滴下する恐れがある。
13年9月4日～14年8月19日に生産した8万2590台
- 三菱自動車、小型電気自動車「i-MiEV」の電動コンプレッサー内部で漏電が発生する恐れがあるとしてリコール
エアコンの電動コンプレッサーにて、カバーの耐腐食性能が不十分な為、コンプレッサー内部に水分が浸入することがある。そのため、コンプレッサー内部で漏電が発生すると、EV警告灯が点灯するとともにモーター出力が制限されることがある。又、その状態で、停車後にPレンジにシフトすると電源が遮断され、走行不能となる恐れがある。
09年7月4日～12年6月29日に生産した9563台
- フォルクスワーゲングループジャパン、「ポロ1.0/70kW」の触媒コンバーターに不具合があるとしてリコール
排出ガス飛散防止装置において、触媒コンバーター組立工程の生産工程の生産管理が不適切な為、正規と異なる触媒コンバーターが組み付けられているものがある。そのため、エンジン制御との整合性が合わず、触媒内部に粒子状物質が堆積し、警告灯が点灯。最悪の場合、触媒コンバーターが損傷し、排出ガスが基準値を超える恐れがある。
19年8月27日～20年6月16日に輸入した4148台
- ダイハツ、「タント」・スバルOEM「ステラ」等計19車種のリアブレーキに不具合があるとしてリコール
後輪ブレーキのシューとドラムの隙間を自動で調整する機構(ストラットセット)において、部品組立時のグリス塗布設備の管理が不適切な為、アジャスタボルトのネジ面のグリス塗布量が不足しているものがある。その為、そのままの状態で使用を続けると、ネジ面が錆びて固着し、自動調整機構が作動しなくなる恐れがある。
17年10月10日～18年5月18日に生産した35万3578台
- ダイハツ、「ムーブ」・スバルOEM「ステラ」のリアコンビネーションランプに不具合があるとしてリコール
17年7月21日～同年12月4日に生産した1万3210台
構成部品の生産管理が不適切な為、樹脂部品の密度が不足しているものがある。その為、そのままの状態で使用を続けると、当該部品が熱収縮し、最悪の場合、LED素子が周辺部品との干渉によって破損し、ブレーキランプやテールランプが点灯しなくなる恐れがある。
- マツダ、「CX-30」のヘッドライトに不具合があるとしてリコール
19年8月6日～20年3月20日に生産した7513台
アダプティブLEDヘッドライトを制御するコントロールユニットにおいて、光軸調整用プログラムが不適切な為、プッシュボタンスタートを押して電源ポジションをONにした際、ヘッドライトの光軸初期化が正しく作動しないことがある。その為、ヘッドライトの光軸が上向きにずれ、保安基準に適合しない恐れがある。
- トヨタ自動車、「ノア」等計39車種の燃料ポンプに不具合があるとしてリコール
17年7月5日～19年12月6日に生産した21万0363台
低圧燃料ポンプのインペラ(樹脂製羽根車)の成形条件が不適切な為、樹脂密度が低くなって、燃料により膨潤して変形することがある。そのため、インペラがポンプケースと接触して燃料ポンプが作動不良となり、最悪の場合、走行中エンストに至る恐れがある。
- 日産自動車、「セレナ」のLEDフォグランプに不具合があるとしてリコール
19年7月12日～同年11月15日に生産した2万2955台
LED仕様のフォグランプにて、製造過程で輸送する際の荷姿設定が不適切な為、搬送時の衝撃によりレンズの位置がずれ、光軸が保安基準を満足していない恐れがある。